allcinema

裏窓（1954）

REAR WINDOW

メディア　映画
ジャンル　サスペンス
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　113分
初公開日　1955/01/29
公開情報　ＰＡＲ
映倫　G
リバイバル　1984/02［ＣＩＣ］

【解説】

ウールリッチの小説を大幅に脚色し、ヒッチコックが技巧の極みを尽くした傑作サスペンス。カメラマンのジェフ（Ｊ・スチュワート）は足を骨折し、ニューヨークはグリニッチ・ヴィレッジのアパートで療養中。身動きの取れない彼にとって退屈しのぎの楽しみは、窓から見える中庭と向いのアパートの住人たちを眺める事だけ。だが、その中で、セールスマンの夫（Ｒ・バー）と激しい口論をしていた病床の妻の姿が見えなくなった事に気づいた。セールスマンの様子を窺う内に、ジェフはその男が女房を殺したのではないかと推測、恋人のリザ（Ｇ・ケリー）と看護人ステラ（Ｔ・リッター）の協力を得て調査を始めるのだが……。全編ほとんど、ジェフの部屋から出ることのないカメラは、観客と主人公を完全に一体化させる効果を生み、緊迫感とリアリティを作り出している。そして主人公が“動けない”という究極のハンディキャップ。小出しのサスペンスが重ねられ、やがて疑っている相手がこちらを意識した時に、その波は最高潮に達する。しかし、ヒッチコックの妙味はサスペンス部分だけではない。冒頭、ジェフがカメラマンであり、どういう事故に遭った事かなどを１カットで説明する辺りにもそれは発揮されており、向かい側のアパートの住人たちの点描などもユーモアを交えた巧みな作り方である。さすがヒッチ先生。スチュワートの個性、リッターの達者な芝居も見どころだが、ケリーのため息が出るほどの美しさは特筆もの。

【クレジット】

監督	アルフレッド・ヒッチコック	Alfred Hitchcock	
製作	アルフレッド・ヒッチコック	Alfred Hitchcock	
原作	コーネル・ウールリッチ	Cornell Woolrich	
脚本	ジョン・マイケル・ヘイズ	John Michael Hayes	
撮影	ロバート・バークス	Robert Burks	
音楽	フランツ・ワックスマン	Franz Waxman	
出演	ジェームズ・スチュワート	James Stewart	ジェフ
	グレイス・ケリー	Grace Kelly	リザ
	レイモンド・バー	Raymond Burr	ラース
	セルマ・リッター	Thelma Ritter	ステラ
	ウェンデル・コーリイ	Wendell Corey	トーマス

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.